

余丁校通信



3月の生活目標

学校や身のまわりをきれいにしよう

壁との向き合い方

校長 佐藤 郁子

1月末、元メジャーリーガーのイチローさんが、日本人初のアメリカ野球殿堂入りの快挙を果たしました。数々の名言を残しているイチローさんですが、今回も殿堂入りが満票に1票足りなかった際にも「1票足りなくてよかった。不完全な中で自分なりの完全を追い求めていくのが人生で、不完全であるというのは生きていく上でいいなあ、と改めて考えさせられた」という内容を会見で語っていました。常に達成すべき目標に向かって邁進してきたアスリートらしい言葉です。

イチローさんは選手時代、こんなことも言っていました。「『できなくてしょうがない』は、終わってから思うことであって、途中でそれを思ったら、絶対に達成できません。」

イチロー選手も決して順風満帆だったわけではありません。何度も壁に当たり、挫折しそうになったはずですが、しかし、挑戦する前に、そして、挑戦している過程において、決して、壁を越えられないとは思わない。それには強い気持ちが必要です。

「ニート」という存在を広く世間に知らしめた経済学者で、東京大学教授の玄田有史氏は、「壁」についてこんなことを言っています。

「大きい壁にぶつかったときに大切なことはただ一つ。壁の前でちゃんとウロウロしていること。」越えられないからと、諦めるのではなく、壁の存在をきちんと認識して、ウロウロする＝壁の周囲の様子を把握する。もしかしたら、地面に小さい穴が開いているかもしれない。あるいは、登れそうな凸凹があるかもしれない。諦めずに急がずに、越えるための手段を模索するということなのでしょう。

スポーツの世界に限らず、生きていく上では必ず「壁」に当たります。大人は、子どもの前の「壁」をとにかく取り除きがちですが、その壁を自分なりの方法で乗り越えることこそが大事です。なぜなら、乗り越え方は一人一人違うから。

あと1か月で、子どもたちは進学・進級を迎えます。保護者・地域の皆様には引き続き、温かく見守ってくださいますようお願い申し上げます。

皆様のご協力に感謝

スクールコーディネーター

各小・中学校には、学校運営について協議し学校を支援する組織として「地域協働学校運営協議会」が設置されています。構成メンバーは、町会・若松青少年育成委員会・民生児童委員・PTA などの方々で、スクールコーディネーターも皆様と一緒に学校支援活動を行っています。

今年度も全校遠足、1年生秋探し、2年生町探検、読書旬間の読み聞かせなど、地域の皆様が児童との交流の機会を楽しみに、お手伝いしていただきました。また2年生町探検では、地域のお店の方々にもご協力いただきました。心より感謝申し上げます。

これからも教育活動に少しでもお役に立てるように努力してまいります。

体力テストの結果の確認について

体力テスト担当

体力テストの結果は、児童用タブレットでご確認いただけます。

- ①以下の QR コードを児童のタブレットで読み込む。（お気に入りに登録）→ALPHA のページへ。
- ②個人のID・パスワードでログインする。
（児童用タブレットでは、既にログインしているので入力不要）
→記録や運動能力を高める動画などを確認できる。
- ③もしログインできないようであれば、児童が自身のキャリアパスポートに入れている「個人票」を読み込んでログインする。

必要があれば担任にお知らせください。

※児童のタブレットは3月
12日(水)に回収します。
お早めにご覧ください。

